

平成 27 年（2015 年）9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（ 2 日目 ）

平成 27 年 9 月 10 日（木）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 新文化芸術 発信拠点施設 について	(1) 新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)建設予定地の久茂地小学校跡地周辺を対象に3回行われた「まちづくりワークショップ」の参加人数は何人だったのか問う (2) 久茂地小学校の廃校の件で地域住民は疲弊しており新市民会館について関わりにくい状況が見受けられる。地域住民の積極的な関わりをつくる方法についてはどのように考えているのか問う (3) 周辺道路の整備や公園整備など、市民ワークショップのような市民参加の機会も増えると考えられる。同時進行でワークショップが立て続けになり参加者の負担が大きくなれば想定していた成果を出せないことが考えられる。当局の見解を問う
		2 第一牧志公 設市場の建て 替えについて	(1) 市場建て替えに関する外部委員会の目的と内容について問う (2) 建て替えに係る費用の概算は仮店舗を作らない現地建て替え(24億円)、にぎわい広場へ仮店舗を作って現地建て替え(35億円)、にぎわい広場へ移設(19億円)となっているがその根拠を問う (3) 民間のマンションなどとの複合化の検討もされているようだが、建設費を抑えて管理コストを下げるべきだと考える。当局の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	上 原 快 佐 (社社市民ネット)	1 道路行政について	(1) 市道松島松川線・県道那覇系満線の交差点及び市道松島松川線・真嘉比山川線の交差点の信号機の右折矢印等について伺う (2) 真嘉比小学校校門前・市道真嘉比 53 号交差点の横断歩道の設置について伺う
		2 本庁舎及びなは市民協働プラザの利活用について	(1) 市庁舎の緑化について伺う (2) 本庁舎及びなは市民協働プラザの駐車場の現状について伺う (3) なは市民協働プラザの民間利用スペースの状況について伺う
		3 障がい者に対する観光行政について	(1) 本市観光の障がい者に対する取り組みの現状と課題について伺う (2) 障がい者への観光情報の提供について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	宮 平 のり子 (社社市民ネット) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 市長の政治 姿勢について	7月16日、名護市辺野古の新基地埋立承認について、第三者委員会は“埋立申請書は法の要件を満たさず、承認した手続きに法的瑕疵がある”と翁長県知事に報告している。翁長知事は内容を精査、報告書を尊重するとコメントされ、8月中にも承認の取り消しまたは撤回を判断する見通しと伝えられていた。しかしながらこの時期、8月10日から9月9日まで1月間、工事を停止し、集中協議を行うとしたが、全くの平行線である。沖縄県民の沖縄県知事に対する信頼期待は高まり、県民は知事の「埋立承認の取消、撤回」の決断を待っている状況にある。市長の見解を伺う
		2 介護行政に ついて	(1) この8月、介護保険利用者の負担割合が一部2割になったが、2割負担の要件と、那覇市内の介護保険負担割合2割の人数と割合について伺う (2) 2割負担の上限額などについて、どのような周知をしてきたか伺う
		3 医療費助成 について	(1) 子ども医療費の現物給付について、中核市の状況、那覇市の課題は何か伺う (2) 母子及び父子家庭等医療費助成事業の自動償還払いの現状について伺う (3) 母子及び父子家庭等医療費助成事業の自動償還払いの目途について伺う
		4 教育行政に ついて	(1) 出席名簿の男女混合名簿の推進について教育長の見解を問う (2) 「誰もが自分らしく生きやすい社会の実現」を願って、那覇市はこの7月LGBT支援宣言「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言を行った。男と女だけではない性自認があり、自分の性別や性的指向違和感を持つのは13人にひとりともいわれている。社会が

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			変わり、誰もが生きやすくしようというもの。しかしながら、学校生活では男女の二つの性が前提にされ、性的少数者はおのずと見えない存在にされ、最たるものは出席名簿の男女別名簿である。那覇市内で、出席名簿を混合名簿にしている学校名を伺う (3) 出席名簿の男女混合名簿の実施については、この3月、県教育長からも「男女混合名簿導入の推奨について」(依頼)が届いている。教育現場で本腰を入れる必要が用意あると思うが、教育長の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	花 城 正 樹 (なは民主)	1 これまでの 外交(応接)に ついて 2 公設市場の 跡地利用計画 について 3 生涯教育、 情操教育につ いて 4 自動車ナン バーについて	(1) 横綱白鵬がご来庁の際の状況について (2) 飲食を伴う接待のケースと判断基準につ いて 現時点で、どのような空間をイメージしている のか見解を伺う 映画がもたらすプラスの影響について、見解を 伺う 平成 20 年までに全国 19 地域で新たな地域名表 示による「ご当地ナンバー」が導入された。全国 各地から改めて強い要望があり、平成 25 年に第 2 弾の追加導入が国交省から示された 以下、伺う (1) ご当地ナンバーの導入メリットについて (2) 導入する場合の基準について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	糸 数 昌 洋 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 観光行政について 2 災害時の対応について 3 情報政策について	魅力的な観光交流都市を目指すとした「那覇市観光基本計画」が本年 6 月に策定された。計画策定に先立ち、本年 4 月には議会発議による「めんそーれ那覇市観光振興条例」が制定されている。今後は、行政、市民、民間事業者そして議会がそれぞれに連携協働して取り組むことになるが、どのように周知を図り推進していくのか、見解を問う (1) 台風時における市役所開庁または閉庁の判断について 台風 15 号の暴風警報発令時における 8 月 24 日の市役所業務について、路線バスの終日運休が決まったにもかかわらず、「暴風警報が午後 3 時 15 分までに解除される場合は業務再開を予定している」との判断がなされた。周辺自治体が早い段階で閉庁を決める中で、このような判断をした理由について問う (2) 災害時のエリアメールについて 緊急速報「エリアメール」は、気象庁が配信する緊急地震速報や自治体が配信する災害・避難情報を携帯電話事業者が無料で提供するサービスであり、本市でも 2008 年から配信が開始されている。本市におけるエリアメールへの対応について、市民からどのような声や反応があるのか問う 先の日本年金機構における大量の個人情報流出問題を受けて、総務省は去る 6 月 12 日に「社会保障・税番号制度の準備に伴う既存住基システム及び団体内統合宛名システムにおける個人情報の標的型攻撃対策の徹底について」と題する通知を各自治体宛に行った。その後、8 月 7 日には、同システムのインターネットを介した不特定の外部との通信について、至急講ずべき対策の通知を行っている 以下、本市における自治体情報のセキュリティ対策について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 経営改革について	(1) 具体的にどのような対策を行っているのか、説明を求める (2) 市民サービスへの影響はないのか。例えば、インターネットを活用する公共施設予約システムや電子入札システム等への対応はどのようなのか (3) 職員の業務への影響について 庁舎全体でインターネットが利用できる端末は何台になるのか。職員の端末のインターネット利用が制限されることで業務への支障が生じるかと思うが、どのように対応していくのか 昨年4月、那覇市経営改革大綱が改定され、平成26年度から29年度までの4年間の具体的な取り組みを示した第4次那覇市経営改革アクションプランがスタートした。本年7月には、26年度アクションプランの組織目標達成状況が公表されると同時に、27年度の組織目標が示されている、以下問う (1) 組織目標の達成率が第3次の期間に比べ10ポイント以上低くなっている理由を問う (2) 第4次プランから「AP組織目標管理シート」が導入されているが、活用状況(現場の感想や課題含め)はどうか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	屋 良 栄 作 (ひやみかち那 覇・無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 A i r b n b (エアービ ーアンドビー) の旅館業法上 の取り扱いに ついて 2 総 理 大 臣 談 話 に つ い て	(1) A i r b n b (エアービーアンドビー)の 存在を認識しているか伺う (2) 県内主要都市、特に本市においてA i r b n bのサイトが数多く開設され、宿泊客を募 っているという事実を認識しているか伺う (3) マンションや一軒家の空き部屋が有料で 貸し出され、宿泊させているというサービス について、無許可で営業できるものか伺う (4) 無許可で営業できない場合、宿泊を生業と して行うには、どのような許可が必要か伺う (5) A i r b n bは、旅館業法の許認可、規制 の対象となるのか伺う (6) 旅館業の許可は簡単に取得できるものか 伺う (7) A i r b n bについての法律上の問題点 について、沖縄県や厚生労働省と連携して対 応すべきと考えるが、見解を伺う 8 月 14 日に行われた、戦後 70 年内閣総理大臣 談話への見解(評価)を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 教育行政について	(1) ICT教育の環境整備は、「生きる力」「学習力」を高める上で重要である 本市では、小中学校にPC教室（ノートパソコン）、電子黒板（全中学校・全小学6年生）、タブレット端末の配付（小学校3校、中学校3校）、無線LAN等が整備されているが、以下の点について伺う 小学校（1学年～5学年）への電子黒板導入計画について伺う タブレット端末を活用している学校での成果と課題について伺う ICTを利活用する授業をサポートするIT専門支援員の導入について伺う (2) 今年度予定している「那覇市の情報化推進計画」の進捗状況について伺う (3) 教員のICT教育の研修等も行っている、教育研究所の移転計画について伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 社会教育施設について伺う	(1) 中央図書館は「琉米文化会館」として昭和44年に建設され、昭和50年に教育委員会へ移管して46年目を経過している。老朽化に伴う建替計画について伺う (2) 中央公民館・図書館の老朽化の整備については「那覇市人材育成施設(社会教育施設等)整備基本構想」の中で「市の中心部に建設することが望ましい」とある 県立図書館は2018年度開業予定の那覇バスターミナル地区（那覇市泉崎）の複合施設へ新県立図書館として移転する方向で調整が進んでいる。現県立図書館を市へ移管し利用する計画はないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 環境行政について	地球温暖化対策として、本市では、公共施設、各家庭への再生エネルギー（エコキュート・コージェネレーション・ソーラー温熱器等）の導入を推進している。大都市への電力・節電効果として注目されている「スマートコミュニティー事業」について、本市でもエネルギー節電効果対策としての導入をすべきと考えるが見解を伺う
		4 道路行政について	(1) 大名沢岨線は、大名小学校通学路で交通量も多く、安全対策として滑り止めされているが、古くなり、一部滑り止め舗装がはがれている。道路整備が必要と思うが、滑り止め再舗装と道路補修について伺う (2) 石嶺中学校・城東小学校への通学路で石嶺団地線のローソン前交差点でたびたび交通事故が発生している。安全対策として一時停止の路面標示や立体表示等、安全対策をすべきと考えるが、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 27 年 9 月 10 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 図書館行政について 2 那覇市立幼稚園の今後のあり方について	(1) 文部科学省が示す「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」には、市町村立図書館のサービスとして、利用者及び住民の生活や仕事に関する課題や地域の課題の解決に向けた活動を支援する「地域課題に対応したサービス」に努めるよう記されている 公民館と図書館の併設は本市の特徴であり、協働によるまちづくりの観点からも、望ましいものとする 「地域課題解決型図書館」について、見解と取り組みを問う (2) 第4次那覇市経営改革アクションプランの平成27年度AP組織目標について 平成27年度の新規目標として「図書館サービスの充実と利用者アンケートによる満足度を高める」ことを掲げているが、その背景と具体的な取り組みを問う 「那覇市立幼稚園の今後のあり方について」の基本方針について、以下を問う (1) 市民の多様な保育・教育ニーズに応えることは重要なことである。また、ワークライフバランスや家庭の教育力の重要性も指摘されている。両者のバランスについて、市の見解を問う (2) 切れ目のない保育事業を達成するための「4月1日受入れ」について「臨時的任用職員が約4割を占める実態から、不安定な職場環境で計画どおり定数を確保できるのか」、「30人学級の実現」について「クラス増の人員増に対応できるマンパワーを確保できるのか」との声が寄せられている。市の見解を問う (3) 公私連携幼保連携型認定こども園の園長のあり方について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 文化行政と観光振興・地域活性化について	(1) 那覇市と川崎市の友好と文化的交流親善を記念し川崎市から贈られた佐藤惣之助詩歌碑は現在、首里赤平町の虎瀬公園にあるが、もともと設置されていた首里城に近隣する場所への移設が望ましいとの声もある 市は、平成24年6月定例会において「首里城への移設については、詩碑建立当時の場所への設置は困難と考えられることから、首里城に近接し多くの方々の目に触れる場所への移設について、関係機関と調整を図っていきたいと考えている」と答弁している その後の動きについて問う (2) インターネットゲームをきっかけに、日本刀にはまる「刀剣女子」が増えているという歴史好きな女性を指す「歴女」ブームの際はその経済効果が注目されたことから、今回の「刀剣女子」ブームを、市民等が歴史を知るとともに観光振興や地域経済活性化に寄与するチャンスとして捉えられないかとの観点から、以下を問う 琉球の名刀の特徴と価値、企画展の開催について IT関連産業と連携したゲームアプリ開発等の可能性について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長